

子育て支援から子育ち支援へ

～「子どもを育てたい」と思うまち創り～

医療法人仁寿会 菊池記念こども保健医学研究所
認定NPO法人 郡山市ペップ子育てネットワーク
菊池信太郎

『子育て支援』とは

子どもたちが“育つ(成長と発達する)”ことを支援

- ①子どもの**成長発達**を見守る
- ②子どもが成長発達する“**居場所**”を整備する
- ③子どもの成長発達を**促す人**を養成する
- ④地域で子どもが成長発達できる**仕組み**をつくる

成長:体が健全に大きくなること、発達:できないことができるようになること

①子どもの成長発達を見守る

①肥満に対する予防と早期介入

行政、学校、家庭、産業など全市をあげた対策

②運動発達の評価

現状の把握と、実施した対策の有効性を検討

未就学児～中学生の体力運動能力テスト(全数把握)

③生活環境調査(子どもたちの日常生活状況の把握)

①、②は普段の子どもの日常生活と関係

家庭への指導、生活習慣の工夫(とくにディスプレイ時間)

集団治療（予防）の概念

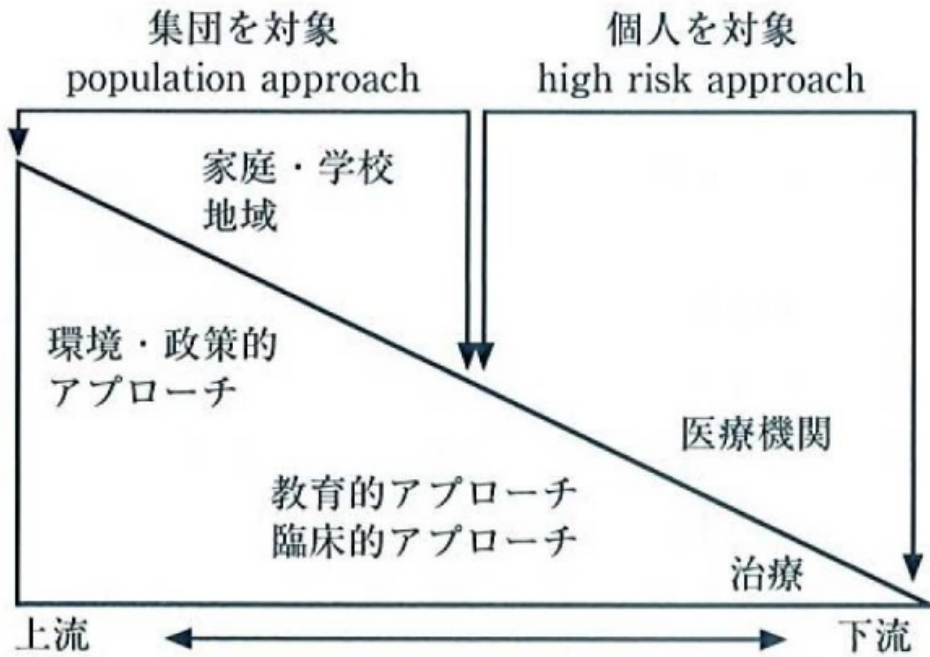


図1 予防・治療連続体の概念(文献²⁾より改変)

病院・診療所はあくまで
個人を対象としている

社会的問題に発展している場
合は、地域(家庭・学校・産業)
が主体とならなければ解決し
ない

肥満になる人(本人)

VS

肥満にさせる人(保護者、外食
産業、小売業などの地域)

②子どもが成長発達する “居場所”を整備する

(子どもの居場所☞家庭、学校幼稚園、保育、遊び場)

家庭の整備☞子育て支援

学校幼稚園☞放課後クラブ、お預かり保育の場を整備

保育所☞長時間保育の場を整備

遊び場☞屋内、屋外それぞれの遊び場、運動場を整備

屋内派にも屋外派にも均等に良質な遊びの場を提供

PEP Kids Koriyama(郡山の子育ち支援の代名詞)の進化

PEP Kids Koriyamaの目的

子どもたちの遊び場として・・・

安心安全な環境

育ちに必要な“遊び”のコンテンツを提案する

運動遊びの質と量を担保する

子どもが“からだ遊び”という習慣を身につける

集団遊び、異年齢交流を図る

保護者にとって

子どもの成長を実感する、保護者同士の交流の場になる

地域の自慢になる

③子どもの成長発達を促す人を養成する

①子どもの発達を促す**プレイリーダーの養成**

☞ 地域へ派遣（学校幼稚園、保育所、放課後クラブ等）

②子どもの発育を**見守る人材の養成**

教育機関・保育現場☞ 養護教諭、看護師、保健師、
保健業務サポート（健康管理ソフトの導入など）

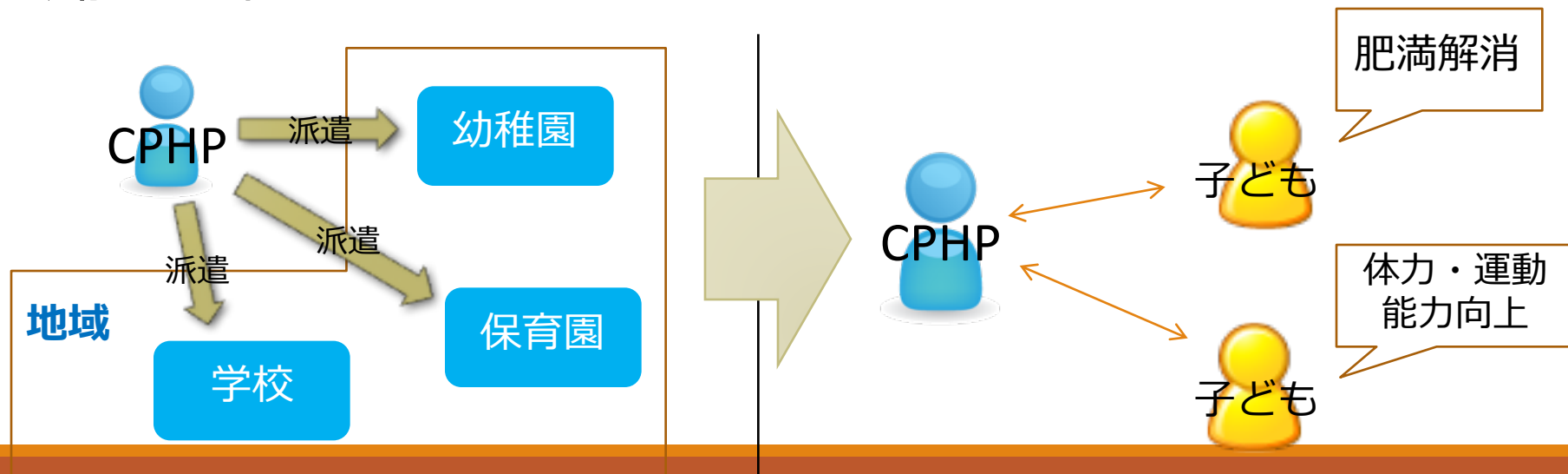
放課後クラブ、スポ少等☞ 子どもの育ちに関する啓発

③子どもの発育を**促す人材の養成**

教育機関・保育現場☞ 栄養教諭の増員、CHPHの派遣

Child Physical Health Provider(CPHP)の 派遣による地域の子育て環境向上

- CPHP:子どもの運動に関してのみならず、成長と発達、心や食育、生活習慣に関する知識を有する。
- CPHPは地域の幼稚園、保育園、学校等へ派遣され、子どものより良い遊び環境を広げ、地域の子育てをリードしていく。
- 結果として、地域の子どもたちの肥満は解消され、体力・運動能力が向上する。



④社会（地域）で子どもが成長発達できる仕組みをつくる

①『成育』の概念の浸透をはかる

（成育：生まれてから、幼少期～学童～生徒～社会人～次世代を産むまで）

③子どもの健康を見守るためには、一本化した政策の実施

③子どもの成長発達（心と体）を継続的に見続けるための、 独立機関が必要

④自分たちは自治体や国に“見守られるている”という実感が、 子どもや保護者に必要

⑤子どもを産み、育てるのに魅力的な街創りが、人口増につながる

👉 成育都市を郡山から

成育都市政策

